

### “ 生きている植物 ” の流通を大変革？

**「セラミック栽培」をポリ袋に封入**

**簡便・新鮮 常温なら2～3週間もつ**

多くの小さな穴を持つセラミックで植物を栽培し、水やりの手間を大幅に減らすなど画期的な開発を進めている当社はこのほど、セラミック植物をポリエチレンの袋に封入して流通させる方法を考え出しました。これまでの度重なるテストで、植物は常温で少なくとも2～3週間は元気に生き続け、開封した後、勢いよく成長しています。

当社はこのセラミック植物栽培の特性を利用し、“生きている植物”を運ぶのが格段に簡単にできることに思い至りました。これまでのように重厚な包装は必要なく、ポリ袋に入れただけで遠距離への搬送が可能になりました。さらに、販売店での管理もずっと楽になっています。まるで、工業製品のような扱い方でできるのです。これまで花屋さん関係店に限られていた取引が、ブティックや洋品店、喫茶店などのお店にも拡大できる展望が開けてきました。栽培工場から店へ直接送ることもできるようになります。もちろん、このことは消費者のみならず、より新鮮な植物をお届けできることを意味します。

また、植物をポリ袋に入れたことで容器との分離が可能になりました。今までガラスびんと植物とがセットになっていました



ポリ袋に入ったセラミック栽培植物



ポリ袋のまま壁に掛けられ、容器も自由に選べる

が、好みに合わせて様々な容器をアレンジできます。

このようなことが可能なのは、セラミックに無数の小さな穴（直径3ミクロン以下）があり、セラミックが毛細管現象で水分を含んでいるため。セラミック栽培の強みをポリ袋の密封性によって倍加させたものと言えます。

この特性を生かし、当社では4月からの大量販売を計画しています。長期的には、この特性をさらに科学的に分析した上、発展させて、生きている植物の長期保存を確固としたものにして、たとえば海外との貿易などに応用して行く構想を持っています。土をとまわないので検疫がスムーズなと思われるからです。

## イネの品種改良にも一役

イネは最近、ゲノム（全遺伝子情報）が解読されて、これから遺伝子組み換えによる改良が期待されています。その作業にセラミックが大きな役割を果たすことを関係の学者が指摘しています。つまり、「セラミック栽培」は土を使わないため遺伝子を組み換える時の減圧浸潤法の組換え溶液に不純物が混入されるおそれがない、苗に水分を均等に与えられる、試験する場所のスペースが狭くてすむなどの利点がある、というのです。当社にはすでに引き合いもあります。

イネの品種改良は従来の方法でかなり進んでいますが、今後は遺伝子操作によって（1）病虫害に強い品種をつくったり、まれにあるアレルギー性を低めたりする安全性の追求（2）米にビタミンの多いものをつくるなど機能性を高める、の2点が目標とされています。

「セラミック栽培」は遺伝子を組み換えた苗を純粋な環境で育てる時（閉鎖系温室）に、とくに重用されそうです。



セラミックを使ったイネの栽培実験（京都府農業資源研究センター）下段（1ヶ月目）から上段（3ヶ月目）まで順調に成長しているのが分かる

お問合せ先



TEL 06-6930-6060

FAX 06-6932-1652

<http://www.ceragreen.com/> e-mail [phyto@ceragreen.com](mailto:phyto@ceragreen.com)